

日本の資源と産業プリント

名前

- 問1 2021年度の日本国内における風力発電量の統計において、北海道・東北地方は約42.0億kWhと、国内の他の地方に比べて最も多い発電量を記録しています。このように、風力発電の導入が特定の地域で盛んになっている主な理由として最も適切なものはどれですか。 (2024年 山梨県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 火山活動が活発であり、地熱を利用した発電方法と組み合わせで効率を高めることができるため | 2. 一年を通して安定した強い風が吹きやすい沿岸部や平坦な土地、山間部などの適地が多いため | 3. 大規模な火力発電所や原子力発電所が集中しており、送電設備が他の地域よりも整っているため | 4. 人口密度が非常に高く、電力消費量が多いため、都市部近郊に発電所を建設する必要があるため |
|--|---|--|--|
- 問2 日本の諸地域の産業を比較した際、米や果実などの農業産出額に対して、製造品出荷額が14兆円を超えるほど非常に高い数値を示し、工業が県の産業において大きな割合を占めている県はどこですか。 (2026年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1. 山形県 | 2. 和歌山県 | 3. 静岡県 | 4. 茨城県 |
|--------|---------|--------|--------|
- 問3 日本の主な発電所の立地について、火力発電所や原子力発電所が主に海岸沿いに位置するのに対し、水力発電所が特に内陸の山間部に多く建設されている理由として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 都市部での電力消費が多いため、送電時の電力ロスを減らす目的で消費地に近い山岳部に建設するため | 2. 急峻な地形と豊富な降水量を利用して、ダムに貯めた水を高い所から落とすエネルギーを活用するため | 3. 海外から輸入される石炭や液化天然ガス（LNG）を、山間部にある専用のパイプラインで直接運び込みやすくするため | 4. 発電の際に発生する大量の熱を冷却するために、周囲に障害物の少ない標高の高い土地が必要となるため |
|---|---|---|--|
- 問4 東日本大震災後の日本における電源構成の変化と、それに伴う課題について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2023年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 安全性の観点から原子力発電の割合が大幅に低下し、それを補うために天然ガスを用いた火力発電が急増したことで、燃料費の支払いによる貿易赤字が問題となった。 | 2. 輸入燃料への依存を減らすため、震災後すぐにすべての原子力発電所を再稼働させ、震災前よりも原子力の比率を引き上げた。 | 3. 震災直後から地球温暖化対策が最優先され、火力発電を段階的に廃止した結果、現在は再生可能エネルギーが日本の全発電量の半分以上を占めている。 | 4. エネルギー自給率を高めるため、震災によって稼働が止まった原子力発電に代わり、国内で産出される石炭を用いた発電が最も高い伸び率を記録した。 |
|--|--|---|---|
- 問5 日本の食料自給率は、主要な先進国の中でも低い水準にあります。現在の日本における農産物の輸入状況を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. とうもろこしや大豆などは国内自給率が低く、輸入割合においてアメリカ合衆国への依存度が極めて高い。 | 2. 食料自給率を向上させるため、政府はアメリカ合衆国からの農産物の輸入を全面的に禁止している。 | 3. 輸送距離を短縮して鮮度を保つため、農産物の輸入先はすべて近隣のアジア諸国に限定されている。 | 4. 地産地消の取り組みが全国で進んだ結果、主要な農産物のすべてを国内生産だけでまかなえるようになった。 |
|---|--|--|--|
- 問6 九州地方の大大分県と熊本県にまたがる九重連山付近では、八丁原（はっちょうばる）発電所のように、火山のエネルギーを直接利用した発電が盛んです。このような発電所が多く分布する地域の自然条件と、発電方式の名称の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2019年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|
| 1. 火山帯に位置しており、地下のマグマの熱を利用する地熱発電 | 2. 大規模な港湾に面しており、海外から輸入した燃料を利用する火力発電 | 3. 降水量が多く、急峻な山地を流れる河川を利用する水力発電 | 4. 平地が広がっており、年間を通して強い季節風が吹く風力発電 |
|---------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|
- 問7 地元で生産された農林水産物を、その地域の中で消費する「地産地消」という取り組みによって期待される効果として、最も適切なものはどれか。 (2021年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 気候や土壌などの自然環境に合わせて、最も適した作物を大規模に生産し、全国的な供給を安定させる。 | 2. 海外からの安価な農産物の輸入を完全に停止し、国内の農家を保護することで食料自給率の向上を図る。 | 3. 輸送距離が短くなるため、鮮度の高い食材を消費者に届けられるとともに、二酸化炭素の排出を抑えられる。 | 4. 必要な農作物をすべて自分たちで生産し、外部からの購入を一切行わないことで、食料の自給率を極限まで高める。 |
|--|--|--|---|
- 問8 大阪府の堺市や和泉市にまたがる泉北ニュータウンにおける、2012年から2022年にかけての人口構成の変化について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。なお、この期間の統計では、65歳以上の年齢層の幅が広がり、若年層や子供の層が細くなっていることが確認されています。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--|---------------------------------------|--|
| 1. 全世代の人口が均等に推移しており、開発当初の人口構成が維持された。 | 2. 高齢化率が上昇し、子供や若年層の割合が低下して少子高齢化が急速に進行した。 | 3. 働く世代である生産年齢人口が大幅に増加し、年少人口の割合も向上した。 | 4. 大規模な再開発により若年層の流入が続く、高齢者の割合が大幅に減少した。 |
|--------------------------------------|--|---------------------------------------|--|
- 問9 日本の農業における耕地面積の規模と、新技術導入のコストの関係について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 日本の農家の過半数は大規模経営であるため、新技術の導入によるコスト負担の問題は解消されている。 | 2. 耕地面積の規模が小さくなるほど、機械利用などにかかる面積あたりの経費が上昇する傾向がある。 | 3. 耕地面積が小さい農家ほど、少ない投資で最新の農業機械を効率よく使いこなせることが統計で示されている。 | 4. 農業機械の導入コストは耕地面積の大きさに完全に比例するため、面積が小さいほど負担も軽くなる。 |
|--|--|---|---|
- 問10 日本の工業地帯・地域ごとの産業特色について、製造品出荷額の割合に基づいた記述として正しいものを次のうちから選びなさい。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 阪神工業地帯は金属工業の割合が約21パーセントと高く、瀬戸内工業地域は化学工業の割合が約25パーセントと高い。 | 2. 瀬戸内工業地域は機械工業の割合が約67パーセントと最も高く、自動車生産の拠点となっている。 | 3. 中京工業地帯は化学工業の割合が約67パーセントに達し、他地域を圧倒している。 | 4. 阪神工業地帯は化学工業の割合が約25パーセントと高く、瀬戸内工業地域は金属工業の割合が約21パーセントと高い。 |
|--|--|---|--|
- 問11 東北・北陸地方の各県における農業産出額の内訳を比較したとき、新潟県や富山県では「米」の占める割合が非常に高く、農業産出額の7割前後が稲作によるものです。これに対し、最上川流域の盆地などを中心に「果実」の生産が盛んで、他の2県に比べて農業産出額に占める果実の割合が統計上明らかに高い県はどこですか。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 山形県 | 2. 富山県 | 3. 新潟県 | 4. 福島県 |
|--------|--------|--------|--------|